



β HOMMACHIBASHI

日常をアップデートする景色に出会おう

I. 事業の実施状況

- ・ 1. 水辺・まち・人をつなぐキオスク
- ・ 2. やりたいを実現するレンタルスペース
- ・ 3. 暮らしをアップデートするイチバ事業
- ・ 4. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業
- ・ 5. 駐車場事業
- ・ 6. 維持管理事業
- ・ 7. 地域連携事業 清掃活動実績
- ・ 8. 水辺・まち・人の可能性を育てる水辺ラボ事業
- ・ 9. 広報活動

II. まとめ

- ・ 1. 全体の利用状況
- ・ 2. 事業効果（成果と課題）について

I. 事業の実施状況 1. 水辺・まち・人をつなぐキオスク

こだわりの飲食・物販と、水辺・まち・人をつなぐコミュニケーションのハブとなるキオスク

- ・キオスクでは、スタートアップ支援を兼ねたキッチンパートナーによるランチ提供やドリンクの販売をベースに、こだわりのセレクト品やβ本町橋も紹介された建築にまつわる冊子なども販売。
- ・β本町橋に関わるまち・水辺・公園・舟運の全ての相談窓口として機能しており、**水辺・まち・人をつなぐコミュニケーションのハブとして運営**。
- ・2022年4月～1月末までで、**延べ17,496人**が利用。
- ・初年度に引き続き新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、安全安心な運営を実施。
- ・11月より土日月のランチタイム（11：30-14：30）限定でβカレーを販売。2月初旬時点で販売日は水曜と第3・4金曜以外に拡大。

【営業日】

水曜日～月曜日（定休日：火曜日）

臨時休業：5/14（土）、6/18（土）、8/29（月）

年末年始休業：2022/12/27-2023/1/5

【営業時間】

AM11時～PM18時

※主催イベント、貸館利用の場合は22時頃まで営業



子どもたちも気軽にくつろげる日常



主催イベント時はワークショップを行うスペースにもなる



全冊揃えたい建築冊子コーナー



11月からスタートしたβカレー

I. 事業の実施状況 1. 水辺・まち・人をつなぐキオスク

こだわりの飲食・物販と、水辺・まち・人をつなぐコミュニケーションのハブとなるキオスク

- ・β本町橋オリジナルの立地を生かした飲食の体験として、岩谷産業とコラボしたオープンエアで料理を楽しむ期間限定イベントや、多様な主体の関わりを助け水辺やまちとのつながりを感じられる物販を販売した。

β GRILL

- ・都心部の水辺という貴重なオープンエアで楽しめるβ本町橋の立地を生かし、岩谷産業のアウトドア用のカセットコンロを使用した予約制のディナーイベントを実施。
- ・子どもから大人まで幅広い年齢層に参加してもらえ、屋外食でイメージするBBQとは違うアウトドア料理の楽しさや環境の良さを実感してもらった。

【実施時期】 イベント：2022/10/14
一般受付：2022/10/21~11/26の毎週金・土（12日間）

【参加人数】 150人

【連携】

- ・岩谷産業（機材提供・PR連携）
- ・Y'sDining 吉川憲二（料理）



β本町橋で販売している野菜などを使った焼き野菜のグリルなど前菜から始まるコース料理



川沿いの公園に並んだテーブルを囲んで自分で串焼きを焼く

まちとつながる物販

- ・ティーパーティームーブメント×β茶園

京都府南山城村で耕作放棄地や放棄予定地を有効利用し、オーナー制茶畑を運営するプロジェクト“ティーパーティームーブメント”に賛同し、“β茶園”のオーナー登録を行なった。収穫された茶葉は1年に3回送られてきており、β本町橋でドリップ式のティーバッグとして販売中。

- ・POLIS（株式会社丸萬）×βオリジナルハンカチ

2021年5月、中央区淡路町に初店舗をオープンした播州織（兵庫県西脇市）のファッショングッズブランドPOLISとコラボしたオリジナルハンカチを企画中。

オリジナルハンカチの図案は、無地の手ぬぐいにβ本町橋をイメージしてスタンプを押してもらったワークショップにて集め、参加者も思い出に残るグッズを制作する予定。β本町橋の1周年を祝うAnniversary eventや子どもたちを対象にワークショップを行い、現在も引き続き継続中。



オフィスでも気軽に楽しめるティーバッグは煎茶とほうじ茶の2種類展開



子どもたちがβ本町橋をイメージしてオリジナルハンカチの図案を考えるWS

- 次年度の方針
- ・ランチタイム以降の需要に応じて、4月以降は常時軽食やスイーツを楽しめるイートインのカフェ運営へと切り替える。
 - ・屋外での飲食提供が好評を得たため、4~10月の季節限定で屋外での夜の飲食提供を実施する。
 - ・来訪者と水辺・まちのつながりを増やすことを目指して、まちや水辺に関わる物販を拡充する。

I. 事業の実施状況 2. やりたいを実現するレンタル・シェアスペース ①シェアキッチン&オフィス

公共空間をフィールドに、スタートアップを支援するシェアキッチン・シェアオフィス

- ・β本町橋のオフィス機能とキッチンシェアすることで、公共空間をフィールドに多様な活動を展開するメンバーを支援。

いつものキッチン（シェアキッチン）

- ・「自分のお店を持ちたい」などスタートアップの支援を兼ねて、**公募により選出したキッチンパートナー**が継続して曜日毎にランチを提供。
- ・夏頃からそれぞれの夢のために卒業するパートナーが増え、現在は2名が自分の店をオープンするために活動している。

■2022/4/1~2023/1/31

- ・月曜：天岩戸（宮崎チキン南蛮定食）
- ・水曜：madobe（農家がつくるスパイスカレー）
- ・木曜：アフリカ・スーダン飯Shendi（スーダン料理）
- ・金曜：月麓（キンパを中心とした韓国料理）
雨食堂（ピビンパとチョングッチャン）
- ・日曜：grun（フォカッチャサンドと野菜デリセット）

※ 卒業

2022年8月：grun

2022年10月：天岩戸

2022年12月：月麓

2023年1月：アフリカ・

スーダン料理Shendi



料理の内容だけでなく器にこだわったりワークショップを行うなど店の個性を出す工夫を行なっている

シェアオフィス

- ・2022年4月～1月末の**契約は6事業者**。
- ・作業スペースや郵便受け取りなど純粋なシェアオフィスの機能だけではなく、シェアオフィスメンバーの活動の場として館内を使用できるようにするなど、チャレンジを応援している。
- ・β本町橋の活動に賛同・協力を前提に、β本町橋の乗組員（クルー）としてお掃除活動や地域イベントにも参加。自主企画のイベントも実施。



クルーメンバー企画運営のイベント「インタビュー・バー」

- 次年度の方針
- ・シェアキッチンは3月で終了。4月から貸館やクルーズ・水上アクティビティと連携した活用を中心にキッチン運営。
 - ・クルー登録を追加募集し、シェアオフィス機能を拡充して平日昼の利用を促進する。

I. 事業の実施状況 2. やりたいを実現するレンタルスペース ②ラボ・ルーム（ウエ）

みんなの「やりたい」を実現するレンタルスペース・ツール

- ・ 目的や利用人数に合わせて使えるレンタルスペースや小商のためのツールを用意。利用者の要望に柔軟に対応し活用を受け入れている。
- ・ 「調査研究」「子ども」「環境・SDGs」「地域活動」に当てはまる公益目的の利用については、収益事業でないことと活動の成果をβ本町橋で発表などすることを条件に一般利用料金よりも安価で利用を受け付けている。

ラボ

- ・ 2022年4月～1月末の延べ予約件数：114件、稼働率：19.2%（1日11時間×25日×10ヶ月）。
- ・ レンタルスペースの中で一番広いラボは、会議利用や食事会や結婚式などのプライベートなイベント、多くの方が参加するイベントや演奏会、展示会、販売会などで幅広く利用されていて、大人向け・子ども向け講座などの定期利用も増えてきている。
- ・ 予約利用がない時間帯は、地域の子どもの遊び場や、公園利用者の休憩スペース、飲食スペースとして開放し、活用いただいている。



季節ごとに開催される洋服の展示販売会



公益目的の調査研究の発表の場として活用



β本町橋初めてのウェディングパーティ

利用内容	回数
会議	30
講座	32
イベント（当日参加）	23
イベント（予約制）	13
グループでの私的利用（食事）	10
グループでの私的利用	6

ルーム

- ・ 2022年4月～1月末の延べ予約件数24件、定期利用が80回、稼働率8.8%。
- ・ ルームは、定期的な写真撮影会会場としての利用や、乳幼児とお母さん向けのプログラム、少人数グループでのプライベート利用、ラボ利用時の控室などによく利用されている。
- ・ 定期利用の1組は週2回・3時間程度で教室利用を継続されている。



赤ちゃんのリトミック体験会



アートワークショップ

利用内容	回数
イベント（当日参加）	6
講座	6
撮影	4
グループでの私的利用	4
会議	3
イベント（予約制）	1

定期利用内容	回数
ヨガ教室 2022/4～：毎週火・水	80

■次年度の方針 ・平日昼やオフシーズンなど、稼働が低い時間帯について、
レンタルスペース予約サイトに登録したり、定期利用割引を導入するなど、新たなニーズを開拓して稼働を上げる。

I. 事業の実施状況 2. やりたいを実現するレンタルスペース ③その他

ボートルーム

- 2022年5月～1月末の延べ予約件数：10件、主にグループの食事会などに利用された。
- β本町橋主催イベントの会場としても活用。
- 2021年11月から2023年5月初旬まで船舶の改修工事のため係留しておらず稼働していない。



グループでの食事会

利用内容	回数
グループでの私的利用（食事）	9
会議	1

レンタルキッチン

- 2022年4月～1月末の利用は5件。
- 近隣の飲食店の屋台出店が増え、キッチンレンタルは減少。

利用内容	回数
製造	1
イベント	4



ランチ提供がない日にイベント出店としてキッチンを利用

β屋台・テーブル

- 2022年4月～1月末の延べ予約件数：18件、β本町橋主催イベントでの延べ利用件数：58件。年間での延べ利用件数：76件。
- 露店営業許可を取得したモバイル屋台だけでなく、三ノ宮の社会実験で使用されていた屋台を譲り受け、貸し出せる屋台を6台に増設。イベント出店に活用できた。小商が出来る場所へのニーズが高いため、テーブル貸は継続。
- コーヒーや近隣のラーメン屋さんのPR出店など飲食販売や、小物販売、マッサージや数秘術などの体験など幅広い利用がされている。



コーヒーと焼き菓子販売



近隣の坦々麺屋さんがプロモーション出店



ハンドマッサージ



テーブルでのワークショップ

利用内容	回数
物販（飲食物）	23
飲食	20
物販	14
体験	10
飲食・物販（飲食物）	9

■次年度の方針 ・4月から営業をスタートするイートインのカフェ運営と合わせて、レンタルスペースの利用に合わせた食事の提供プランを設け、多様なニーズに応えていく。

I. 事業の実施状況 3. 暮らしをアップデートするイチバ事業

大阪府下の生産者や地域とつながり、暮らしがアップデートする市場

- ・都市部における新しい生活インフラとして2021年12月よりスタートした、大阪府下などの生産者と生活者をつなぐ“やさいバス”プロジェクトから、和泉市の産直市場「葉菜の森」直送便に切り替え、引き続き新鮮な野菜を毎日販売するとともに大阪の農業を応援。
- ・生産者につながるβイチの出店者を拡大し、毎月第4日曜日にSpecialβイチとして全6回開催。
- ・新鮮な大阪野菜が好評で常連さんが付いたり、客層が安定していることから一般客向けの予約販売なども可能となっており、野菜を介したコミュニケーションが生まれている。

野菜販売

- ・野菜をセレクトして週2-3回納品し、日常的な野菜販売を実現。
- ・近隣のオフィスワーカーや住民の方々に日常的に利用いただいている。
- ・常連さんも増え、季節商品の予約販売や電話での置き置きなどニーズに合わせたサービスを行えるようになった。

【頻度】2021/12/1~2022/8/31：毎週3回納品
2022/9/1～：毎週2回納品

【販売品目】

- ・やさいバスまたは和泉市の産直市場「葉菜の森」から届く南大阪（和泉市、岸和田市、貝塚市など）の新鮮野菜
- ・豆腐（まるしん豆腐）



採れたての野菜を売るコーナー



イベント時はよりたくさん販売

special βイチ

- ・こだわりの生産者やβ本町橋のおすすめのお店とつながるマーケットを毎月1回開催。延べ27店舗出店。
- ・開催前には地域の方々との清掃活動を実施。
- ・出店者を目当てに来られるリピーターが増加。

【実施時期】毎月第4日曜 PM12~16

(2022年4/24、5/22、6/26、7/24、9/23、12/10実施)

※8、10、11月はイベントやレンタルが重なったため未開催。

【出店情報】

- ・京都間人漁港の鮮魚（熊坂）
- ・市場でも働く若手移動花屋（aru flower）
- ・大阪深日の若手漁師による鮮魚と漁師飯（フケメン）
- ・大阪野菜の肴と日本酒（越冬）等



出店者と交流できる時間になっている

事業	備考	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
野菜販売	毎週水・金納品	毎週水・金・土納品								毎週水・金納品			
Special βイチ	毎月第4日曜	βイチ 毎週日曜開催			4/24よりSpecial βイチとして毎月1回								早め開催
お掃除プロジェクト	毎週日曜												

I. 事業の実施状況 4. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業 ①保管係留

東横堀川の特徴を活かし、都市の水辺ならではの可能性を拓く保管係留

- ・ 舟運活性化に寄与するため、契約船舶が常時係留できる施設として運営。

①保管係留

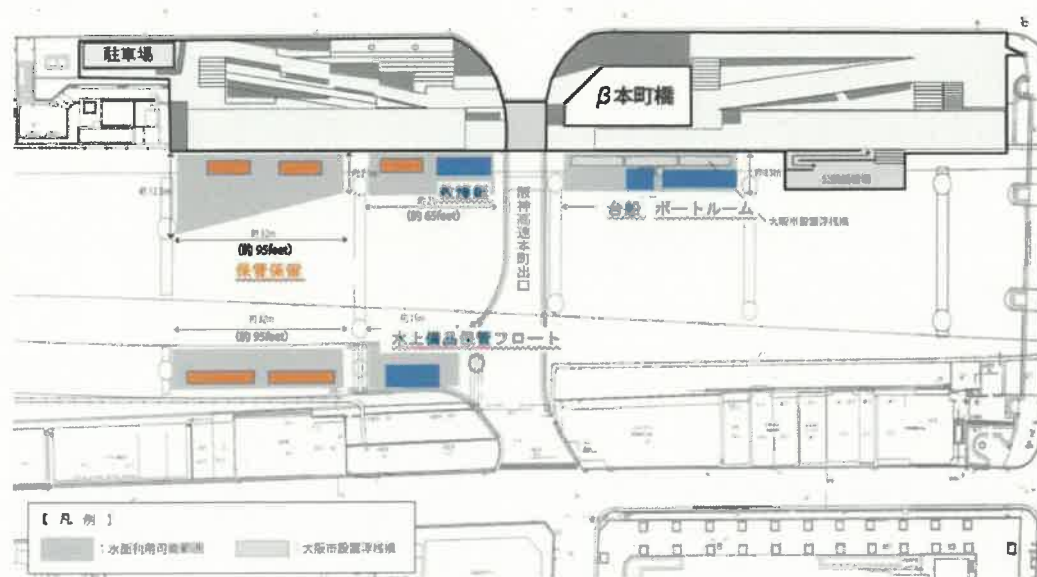
- ・ NPO法人大阪水上安全協会と連携し、小型船を対象として舟運事業者に公平公正に募集し係留希望の船舶を募集。安全な利用ルールのもと、多様な船が安全に係留できるよう運用。3事業者・3艇と保管係留契約を継続。3月以降より2艇追加予定。



保管係留している船舶（施設北側公園の護岸）

②一時係留

- ・ 2023年3月18日（土）には、水都大阪コンソーシアムが企画している「ニコニコクルーズツアー」へ協力する。



■次年度の方針

- ・現時点で事業可能水面は全て活用が決まっており、今後万博に向けた係留ニーズの拡大に応じて、係留可能区域の拡大を図りたい。
- ・5月以降、大阪市によって東横堀川水門改修工事や農人橋周辺の護岸改修工事が実施される。十分に協議調整とご協力をいただきながら、保管係留事業の継続的な実施を図る。
- ・水都大阪の新たなコンテンツを生み出す社会実験の場として、一時係留の受け入れを引き続き積極的に行う。

I. 事業の実施状況 4. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業 ②人力船事業

東横堀川の水辺の特徴を最大限に活かした人力船による水上アクティビティ拠点

- ・東横堀川の全天候型の立地を生かし、通年を通して雨天時も暑い日も楽しめる都市型の新しい水上アクティビティ拠点として運営。
- ・季節や体験できる時間に合わせて選べるように多様なプログラムを用意し、幅広い年齢層の方に利用されている。
- ・昨年度に引き続き、大阪ECO動物海洋専門学校の授業の開催を毎週行うとともに、追手門小学校の体験会や修学旅行の受け入れ、大阪高齢者大学へのレクチャー体験など教育分野にも貢献。
- ・水上ピクニックでは団体予約も受け入れた。
- ・2022年4月～2023年1月末で延べ1,573人が水上アクティビティを利用。



■利用者数詳細

	①水上ピクニック	②1人乗りサップ教室	③水上自転車	④ガイドツアー	⑤手こぎ天国	⑥その他	月別合計
2022年4月	15	0	20	25	4	0	64
2022年5月	46	20	30	98	10	9	213
2022年6月	17	5	11	39	3	32	107
2022年7月	12	21	3	54	5	36	131
2022年8月	19	16	11	46	1	92	185
2022年9月	0	3	4	29	43	0	79
2022年10月	2	10	9	76	12	26	135
2022年11月	0	1	4	81	5	149	240
2022年12月	56	0	4	76	0	100	236
2023年1月	81	2	2	92	6	0	183
種別合計	248	78	98	616	89	444	1573



雨天時でも楽しめるガイドツアーと水上ピクニック



冬はこたつで水上ピクニック



スタッフさんにアテンドしてもらうガイドツアー



追手門小学校の生徒さんの体験会

I. 事業の実施状況 4. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業 ②人力船事業

水上アクティビティの詳細

①水上ピクニック

- 丸形ボートを施設前に浮かべ、ボートの上でピクニックを楽しんでもらう貸しボート。12/1～3/19は豆炭こたつを乗せた「水上こたつピクニック」になる。
- 飲み物・食べ物は持込自由。カセットコンロのレンタルもご用意。

【時間】

・ 11:15/13:15/15:15

(体験時間90分)

※20分のミニ体験有

【定員】

・ 4名



団体予約も受け入れた

②1人乗りサップ教室 (サップで水上さんぽ)

- サップを楽しみながら漕行ルールを学べるスクール形式のアクティビティ体験
- 初心者向けのレッスン

【コース】β本町橋周辺

【時間】・ 11:30/13:30/15:30 (体験時間60分)



お子さんも一緒に楽しめるサップ教室

③水上自転車 (バイクで水上さんぽ)

- 1人乗りと2人乗りから選べる水上自転車体験。
- 体験時間の前半はレッスン、後半はフリータイムで楽しみ、最後には修了証を発行する。

【コース】β本町橋周辺 (体験時間60分)

【時間】・ 11:30/13:30/15:30



乗りこなせるようになるととても楽しい水上自転車

④ガイドツアー

- 丸型ボートにガイドと一緒に乗って川の見所など説明を受けながら手漕ぎ体験が楽しめる。
- 定番の水の回廊を1周するコースと観光客に人気の道頓堀川コースの2種類。
- 12/1～3/19は豆炭こたつを乗せた「こたつボート」になる。

【コース・時間・料金】

①一周：β本町橋～土佐堀川～木津川～道頓堀川～β本町橋

時間：9:15(約3時間)

②道頓堀：β本町橋～港町船着場(片道)

時間：(60分)

β本町橋発：11:00/14:00

湊町発：12:30/15:30



海外の人にも人気のガイドツアー

⑤手漕ぎ天国

- 歩行者天国の水上バージョンで、東横堀川～道頓堀川を船舶が航行しない早朝にカヌーやカヤック、サップ等の手漕ぎ船が利用できる
- 利用は自己管理できる経験者に限定

【範囲】

・ 平野橋～β本町橋～日吉橋

【開催時期・時間】

・ 時期：通年

(毎月最終土曜)

※冬季休暇のため

12月は不開催

・ 時間：6:30～9:00



手こぎをめいっぱい楽しむ テコテン

⑥その他

- β本町橋イベントや季節に合わせた体験プログラムを開催。
- 毎週の授業や体験会の受入など学校とも連携を行なった。

【体験プログラム実施内容】

・ 8/28：ペットボトルすくい(β本町橋1st AnniversaryFes)

・ 10/22：水上運動会(東横堀川オータムフェス)

・ 12月：水上トナカイそり体験

【学びの連携】

・ 大阪ECO動物海洋専門学校1,2年生：前期・後期授業の実施

・ 追手門小学校3年生：体験会の実施

・ (一財)環境事業協会主催 親子体験会MIZUBEキャラバンへの協力

・ 大阪府高齢者大学のレクチャーと体験会

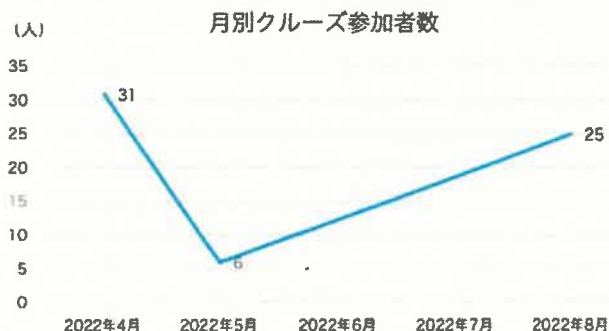
・ 修学旅行の受入

■次年度の方針 ・より多くの方に水都大阪の魅力を知っていただくため、旅行会社とも協力しながら観光客誘致を強化する。

I. 事業の実施状況 4. 水辺の未来を拓く、舟運・水辺アクティビティ事業 ③舟運事業

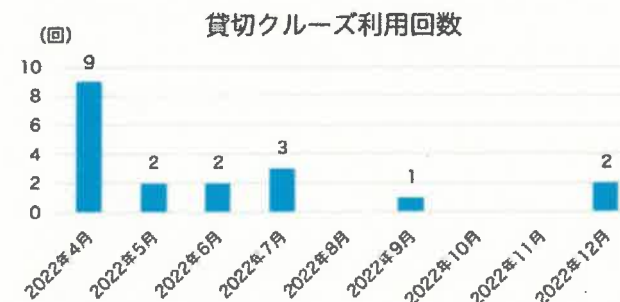
気軽に非日常を 誰でも楽しめる身近なクルーズを展開

- ・季節を感じるクルーズを展開するだけでなく、β本町橋のイベントに合わせて誰でも気軽に楽しめる価格帯でミニクルーズを行うことで、**地域の方や子どもたちでも身近にクルーズを体験することができた。**
- ・チャータークルーズはコロナの影響が落ち着いたこともあり、2022年4月～2023年1月末までの利用回数は**昨年の約5倍の19組**であった。



■利用者数詳細(シーズナルクルーズ・イベントクルーズ合計)

	さくらクルーズ(乗合)	GWクルーズ	月別合計
2022年4月	31		31
2022年5月		6	6
2022年8月		25	25
種別合計	31	31	62



■チャータークルーズ利用回数詳細

	さくらクルーズ(貸切)	チャータークルーズ	月別合計
2022年4月	6	3	9
2022年5月		2	2
2022年6月		2	2
2022年7月		3	3
2022年9月		1	1
2022年12月		2	2
種別合計	6	13	19

①シーズナルクルーズ

- ・季節に応じた様々な乗り合いクルーズを実施。
- ・春は中之島への桜クルーズとGWを楽しむクルーズを実施。

【実施日】

- ・2022年4月3日、10日
- ・2022年5月7日



桜クルーズ

②イベントクルーズ

- ・β本町橋のイベントに合わせて気軽に乗れるクルーズを実施。
- ・子どもだけでも楽しめることで人気を集めた。

【実施日】

- ・2022年3月21日
- ・2022年8月28日



地域連携イベントでのクルーズ



1周年イベントでの歴史クルーズ

③チャータークルーズ

- ・家族や友人など、限られたメンバーでより安全に気兼ねなく楽しめる水上のプライベート空間を演出。パーティなどにも対応。
- ・2年ぶりとなる桜の時期限定の貸切クルーズは家族などグループでのお花見に人気。



グループで楽しむクルーズ



桜を貸切で楽しむクルーズ

■次年度の方針 ・春頃に新船運行をスタート予定。鉄板カウンターで食を楽しみながらのクルーズを実施する。